

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
聴覚障害児支援 かいじゅうの森（保育所等訪問支援）		R7年 3月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 整備・ 運営・ 体	1	訪問支援に使用する教具教材（補聴器、補聴援助機器等）は適切であるか。	2		ロジャータッチスクリーンマイク3台、バスアラウンドマイク2台、ロジャーオン1台、補聴器10台をかいじゅうの森で準備して対応。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		これまでは適切だったが、これ以上対象者が増えると職員の配置数を増やす必要がある。令和7年度は職員2人に対応する予定。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		関係職員で情報共有・連携しながら対応している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		保護者向け評価表だけではなく、必要に応じて保護者等と連絡を取り合い意向を把握し業務改善を行っている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		訪問先職員とは訪問時に懇談する他電話やE-mail等で連絡を取り合い、意見を吸い上げて業務改善につなげている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	第三者による外部評価は現在行っていない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		オンライン等による研修を受講する機会も確保されているし、法人内でも計画的に研修が開催されている。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		直接観察や検査等により子どもの実態を把握するとともに子どもや保護者のニーズや課題に基づいて計画を作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		関係職員間で情報共有・連携しながら保育所等訪問支援計画を作成している。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		関係者による定期的な支援会議に出席して情報交換、意見交換するなど、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んで保育所等訪問支援計画を作成している。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		保育所等訪問支援計画は概略的な計画だが、それに沿って具体的な支援を進めている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		個々のこどもの状況により標準化された検査等を行う場合もあるし、行動観察のみで済ませる場合もある。また、関係機関で実施された検査結果を保護者を通じていただくこともある。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		保育所等訪問計画は概略的なものであるが、可能な範囲で具体的な支援内容を設定している。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		保育所等訪問支援計画は職員間で共有しており概ね計画に沿った支援が行われているが、訪問先の都合で計画に沿った支援を十分には行うことができないこともある。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		支援開始前には職員間で情報共有し、必要に応じて意見交換を行いながら進めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		支援終了後には記録を整理し職員間で情報を共有し、必要に応じて意見交換を行っている。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		できるだけ訪問先の理念や支援手法を尊重するように努めている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		毎回の訪問・支援後には記録を整理して職員間で共有し、必要に応じて意見交換を行うなどして支援の検証・改善を行っている。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		保護者や訪問先の意向の確認は、定期的なモニタリングでも行っているし、訪問時や訪問後に日常的に行っている。具体的な支援の見直しは状況に応じて日常的に行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、実際に訪問を担当している職員が参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図ろうとしているが、年度替わりは訪問先も多忙なため、十分な情報共有・連携ができてにくいこともある。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		臨床心理士等から助言を受けることもあるし、職員を外部研修等に参加させている	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		状況・必要性に応じて参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		訪問支援の前後で、保護者と連絡を取り、共通認識の下支援を進めている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族等も参加できる講演会や研修会、イベント、情報提供の機会等を行っているか。	2		研修会情報も含め、保護者には積極的に情報提供を行っている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		運営規程、利用者負担等について保護者に説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		リーフレット等を持参して、丁寧な説明を行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		こどもや家族の意向を確認している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		定期的にも行っているし、必要に応じて日常的に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2		父母の会や保護者会等はないが、保護者同士、きょうだい同士を繋ぐ働きかけは積極的に行っている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		こどもや保護者からの相談や申入れについては、迅速かつ適切に対応しているつもりである。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		通信等は発行していないが、毎回の訪問後には記録をまとめて保護者に送付している。また、言葉の森くるめ主催の研修会やイベントなどについては、HPやSNS等で発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の取扱いに十分留意しているつもりである。	

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		障がいのある子どもや保護者の状況に応じて、コミュニケーション手段を使い分けている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		訪問先からの相談等には、迅速に対応している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		訪問実施後に毎回のカンファレンスは行っていないが、訪問時に訪問先職員と意見交換を行ったり、訪問後に必要に応じて記録を送付したりしている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		保育所等訪問支援の実施後に保護者に対して記録を送付し、支援内容等の共有を行っている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報の取扱いに十分留意しているつもりである。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		訪問先施設からの相談に適切に応じ信頼関係を築きながら専門的な助言を行おうとしているが、信頼関係の度合いは訪問先によってまちまちである。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		かいじゅうの森の事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル等は策定しているが、保育所等訪問支援の場合、学校等を訪問して支援を行っているので、訪問先の状況に従った対応をしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練等を行っている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保し、適切な対応をしている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		対象が聴覚障がい児なので、身体拘束をする場面等については想定しがたいが、組織的な対応は行っている。	